

“芝生を貼りました!”



芝生貼りは今年で4年目になります。毎年少しずつ面積を広げていって、庭の9割を芝生にすることができました。

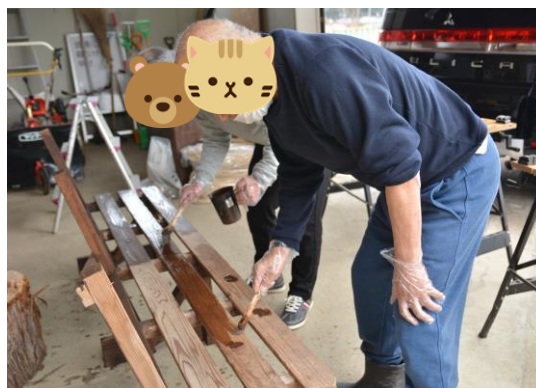


▼野菜や花の種まき進行中

春になり暖かい日が多くなってきたので、外作業ができるようになりました。パズル、かぼちゃ、さやいんげん、しょうが、じゃがいも、ひまわり、百日草など、沢山の種類の種を植えています。

▼木製ベンチのリメイク

利用者様からいただいたベンチを背もたれを交換し、ペンキを塗ってリメイクしています。



▼ハンバーグを作りました
毎週火曜日は手作り料理の日です。みんなで協力して、3品の料理を作っています。



twitter

carestanakamach



Facebook

caresta.day



instagram

care.sta



作業療法士監修

一軒家“まるごと”生活リハビリ型デイサービス



生活リハビリとは？
「ご自宅やデイサービスで、ご自分がしたいこと、できることを見つけ出し、生活動作として毎日繰り返すことで、身体的機能と認知機能の維持・向上を図ります。」
テーブルを拭く、ご飯をよそう、配膳を手伝う、衣服の着脱を自身で行うなど、生活のなかのあらゆる場面で、ご利用者が現在できることは可能な限りご自身で行っていただきます。また、少しだけ頑張っていたたくさん選択プログラムも「留意してあります。そのことが、生活の質の維持・向上につながる」と考えるからです。さらに、ケアスタ中町では、お一人おひとりのご利用者の心に潜んでいる「してみたいこと」を一緒に探出し、そのことが実現できるようにサポートいたします。
様々なプログラムがありますので、集団になじめない方でも対応できます。また、これまでの生活習慣を変えないように、料理や掃除、社会参加プログラムも「留意してあります。」

認知症の人は、なじみの生パン作り、パイキング、コーヒータン、ノルディックウオーキングなど、紙面上では紹介しきれないプログラムを多数ご用意しております。それぞれのプログラムに目的と効果を設定して、プログラムを行う事で日常生活動作の訓練を楽しみながら行う事ができます。

20種類以上の選択プログラム
「なじみの作業記憶」を活用
認知症の人は、なじみのない行動は苦手です。目的や手順を説明されても理解が難しかったり、忘れてしまったりして、混乱・困惑し、時にはやらされていることへの怒りを感じることもあるでしょう。一方、積み重ねてきた作業を体が覚えていてくれることがあります。認知症の人は、そうした「体が覚えたこと」「なじみの作業」は、失われにくい傾向があり、生活リハビリではまさにその人のなじみの作業を行います。慣れた行動、わかりやすい目的のため、前述のような感情にとらわれずすすみます。

「なじみの作業記憶」を活用
認知症の人は、なじみのない行動は苦手です。目的や手順を説明されても理解が難しかったり、忘れてしまったりして、混乱・困惑し、時にはやらされていることへの怒りを感じることもあるでしょう。一方、積み重ねてきた作業を体が覚えていてくれることがあります。認知症の人は、そうした「体が覚えたこと」「なじみの作業」は、失われにくい傾向があり、生活リハビリではまさにその人のなじみの作業を行います。慣れた行動、わかりやすい目的のため、前述のような感情にとらわれずすすみます。



▼畑・園芸
▼料理
▼薪割り・ご飯炊き
▼パン作り

▼薪割り・ご飯炊き
▼パン作り

▼薪割り・ご飯炊き
▼パン作り

▼パン作り

●ケアスタ中町の3種類の活動
①家や施設などの自分が所属している場所の役に立つ活動
②地域社会や人の役に立つ活動
③対価を得られる活動

年をとって、体が弱ってくると、受け身になり自分から動くことが少なくなります。そして、支えられ自分の役割がなくなったり喪失感で、自尊心が削られていきます。その回復のために、利用者ができることで、地域社会とのつながりや、役割を取り戻そうと考えています。

「これまででの介護の課題」
「できないことを“してあげる”のは、単なるお世話」
「できることに焦点を当てて、その人らしく暮らせるようにするのが介護」

「これまででの介護の課題」
「できないことを“してあげる”のは、単なるお世話」
「できることに焦点を当てて、その人らしく暮らせるようにするのが介護」



ご利用に関するご相談はLINE
またはお電話でお問合せ下さい！
☎0228-24-8456